



島津ロードセル式台はかり
LDS - H / Sシリーズ
取扱説明書「基本編」

この取扱説明書をよく読んで正しくご使用ください。
いつでも使用できるように大切に保管してください。

 島津製作所

分析計測事業部

製品保証について

このたびは本器をご購入くださりましてありがとうございます。

当社は本器に対し、1ヶ年の製品保証をいたしております。

万一、保証期間中に当社の責により故障を生じた場合は、その修理または部品の代替を無償で行います。

ただし、次に該当する故障の場合はこの対象から外させていただきます。

- 1) 誤ってお取扱いになった場合
- 2) 当社以外で修理や改造などが行われたためによる場合
- 3) 故障の原因が機器以外の理由による場合
- 4) 高温多湿・腐食性ガス・振動など、過酷な条件の中でご使用になった場合
- 5) 火災・地震その他の天変地異による場合
- 6) いったん据え付けた後、移動あるいは輸送された場合
- 7) 消耗品およびこれに準ずる場合

アフターサービスについて

故障と考えられる場合には、まず「5. 故障？」の項をお読みください。

それでも事態が改善されない場合には、下記のサービス会社へご連絡ください。

サービス会社名(所在地)	電話番号	F A X
東京島津科学サービス(札幌) 〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目2-1 太平洋興発ビル内	(011)242-2066	(011)242-2068
東京島津科学サービス(仙台) 〒980-0014 仙台市青葉区本町2丁目6-23 ビブレスタオフィスビル内	(022)261-4812	(022)268-3860
東京島津科学サービス(東京) 〒060-0051 東京都台東区浅草橋3-32-5 ホッコク浅草橋ビル	(03)5820-3277	(03)3864-0191
東京島津科学サービス(富山) 〒939-8072 富山市堀川町330 宮内南ビルB号室	(076)493-9001	(076)493-9081
京都島津計測サービス(名古屋) 〒453-0016 名古屋市中村区竹橋町5-5 さかえビル4F	(052)451-4621	(052)451-4641
京都島津計測サービス(京都) 〒604-8445 京都市中京区西ノ京徳大寺町1 島津製作所N5号館3F	(075)812-7001	(075)812-7003
カンサ(大阪) 〒530-0013 大阪市北区豊崎3-2-1 淀川5番館9F	(06)6371-5234	(06)6371-9187
松下製作所(福岡) 〒812-0037 福岡市博多区御供所町9-14 淀川5番館9F	(092)291-4382	(092)272-3380

安全に関する注意事項

この取扱説明書では、警告内容を次のように規定しています。



この記号は、注意を示します。
その事象を避けなければ、軽症または中程度の障害を負う可能性のある場合、および物的損害の可能性のある場合に用いています。

この記号は、注記を示します。
装置を正しくご使用していただくための情報を記載しています。



使用上の注意

はかりを安全かつ支障なくご使用いただくために次の事項を守ってください。

- ・精密機械ですので、**衝撃等を与えない**でください。
- ・**絶対に分解しない**でください。故障の原因となります。
- ・長時間皿上に物を載せたままにしないでください。
- ・下記の場所での使用は避けてください。
 - 1) 引火性ガス，引火性液体，粉塵などの漂う危険領域
 - 2) 温度変化が激しい所
 - 3) 湿度が高い所
 - 4) 強い風が当たる所
 - 5) 振動が激しい所
- ・持ち運びの際は、**表示部やボールだけを持たない**でください。
はかりのベースを持つようにしてください。
- ・必ず、**付属の専用ACアダプタ**をお使いください。

<< 目 次 >>

はじめに	1
1 . ご使用の前に	2
1.1 梱包部品の確認	2
1.2 据え付け	3
2 . 各部の名称と機能	5
2.1 表示器パネル	5
2.2 表示器リアケース	6
3 . 基本的な使い方	7
3.1 重さを計る	7
3.2 総量への表示切替をする	9
3.3 スタンバイモードへ切替える	10
3.4 日付・時刻を設定する	11
3.4.1 日付設定	11
3.4.2 時刻設定	13
4 . 日常点検について	15
5 . 故 障 ?	16
6 . 仕 様	17
6.1 L D S - Hシリーズ	17
6.2 L D S - Sシリーズ	17
7 . 部品リスト	19
本体寸法図	20

はじめに

このたびは、島津電子台はかりLDS - H / Sシリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器を末永くお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みになり、大切に保管してください。

本書では、据え付けから最も基本的な使い方について記述しています。

LDS - H / Sシリーズシリーズでは、質量測定はもちろんのことコンパレータ機能、個数測定などの応用測定機能や単位換算機能も備えています。

応用測定機能の詳細については、別冊「応用編」をご参照ください。

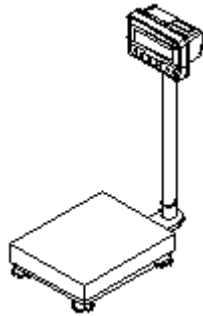
なお、「LDS - H / Sシリーズ」は取引証明以外の用途で使用されるはかりとして製造されたものであり、検定は受けておりません。取引証明用にはご使用にならないでください。

1. ご使用前に

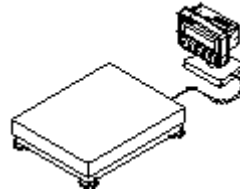
1.1 梱包部品の確認

梱包を開けたときに下記の部品が入っているか確認してください。

- ・本体一式...表示器，ポール，皿，ベース



ポール型

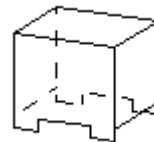


セパレート型

- ・ACアダプタ 1



- ・表示器カバー 1



- ・取扱説明書 「基本編」1部，「応用編」1部

- ・ポール固定用止めネジ 2 (ポール型のみ付属)

- ・ACアダプタケーブルクランプ 2 (ポール型のみ付属)

- ・六角レンチ 1 (ポール型のみ付属)

1.2 据え付け

次のことに注意して据え付けを行ってください。



本体重量は約 14 ~ 20 kg あります。

一人での据え付け、無理な姿勢での持ち運びは行わないでください。



必ず、付属の専用 AC アダプターをご使用ください。



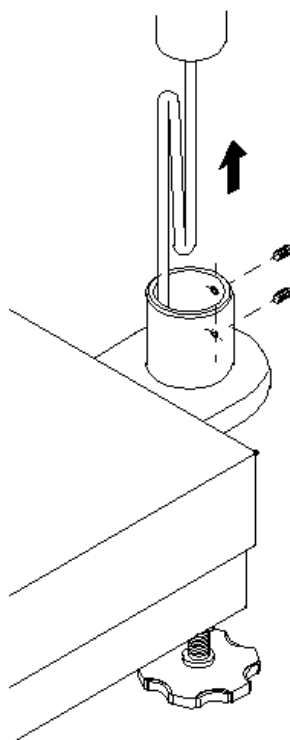
皿上には、ひょう量の 1.5 倍以上の物は載せないでください。

また、物を落下させたり衝撃を与えたりしないでください。

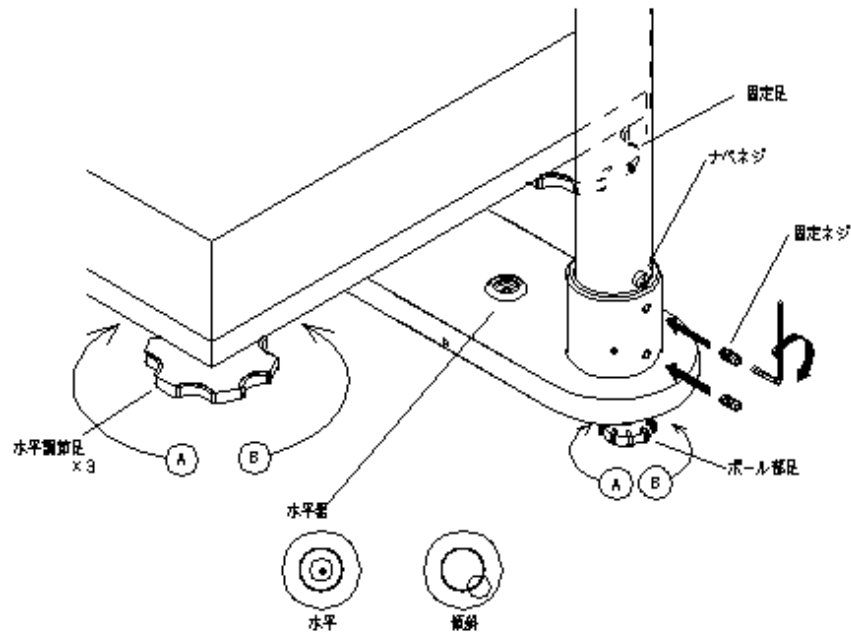
- 1) **ポール部を持つての持ち運びは行わないでください。**
- 2) 振動，風の影響を受けない平らなところに据え付けてください。
- 3) 直射日光や強力な紫外線を浴びる場所での使用は避けてください。
- 4) 電源ノイズや電波，磁気の強いところは避けて据え付けてください。
- 5) 水のかかるような場所では、付属の表示器カバーを使用してください。
- 6) 水のかかるような場所でのセパレート型別置表示器の使用は避けて下さい。
- 7) 故障の原因になる為、強い力でケーブルを引張らないで下さい。

1) 計量台ベースからシリカゲルを取り出します。

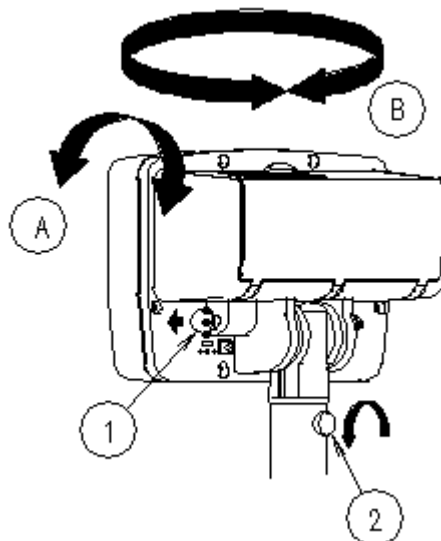
2) 下図のように、余分なケーブルを二重に束ねてポール内部に収納します。
(セパレート型ではこの手順は不要です。)



- 3) 表示器ポールをベースのポール受けにポール下部にあるナベネジがポール受けに接触するまで深く差込み、ポールのナベネジと2本の固定ネジがほぼ一直線になる位置でしっかりと固定します。付属の六角レンチをご使用ください。
(セパレート型ではこの手順は不要です。)
- 4) 水平調節足3本を操作して、水平器の気泡が赤い円の中心にくるように調整します。水平調節足を(A)の方向に回すとその足の部分が高くなります。
(B)の方向に回すと低くなります。
水平調節足がすべて接地していることを確認してください。
- 5) 小皿機種の場合、水平調節足を調節した後、図のようにポール部足を回して接地させます。

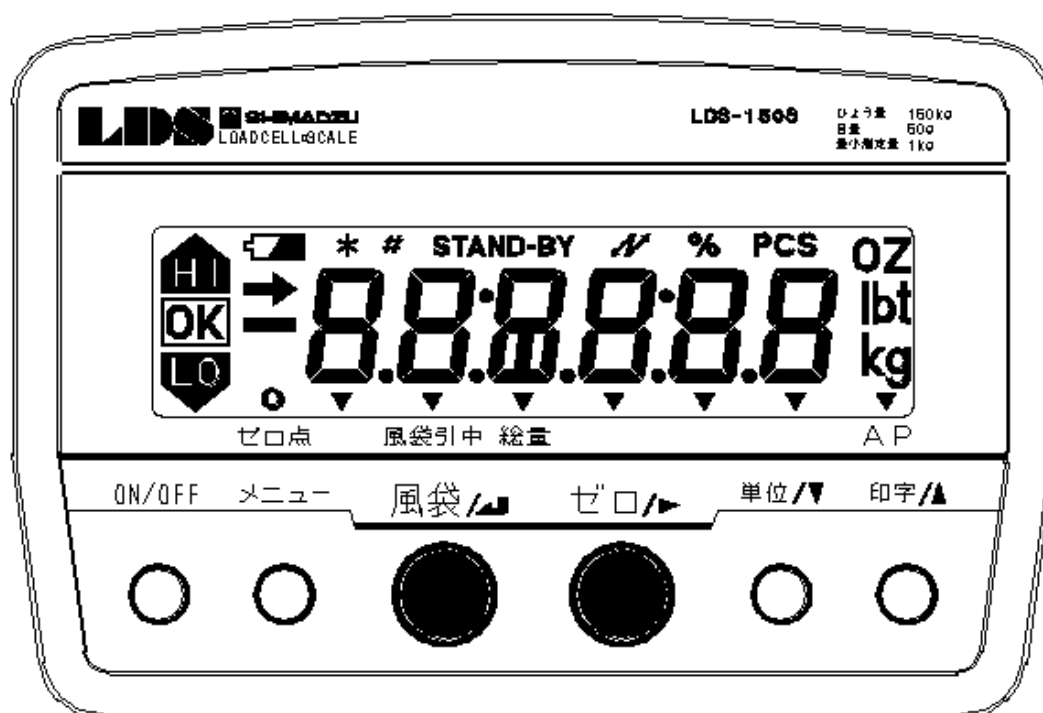


- 6) の上下角度調節つまみを引くと(A)の矢印の方向に角度を変えることができます。調節後はつまみを押し込んでください。 の左右角度調節つまみを反時計回りに回すと(B)の矢印の方向に向きを変えることができます。調節後はつまみを時計回りに回して固定してください。
左右の角度調節を行う場合は1回転以上させないように注意してください。



2. 各部の名称と機能

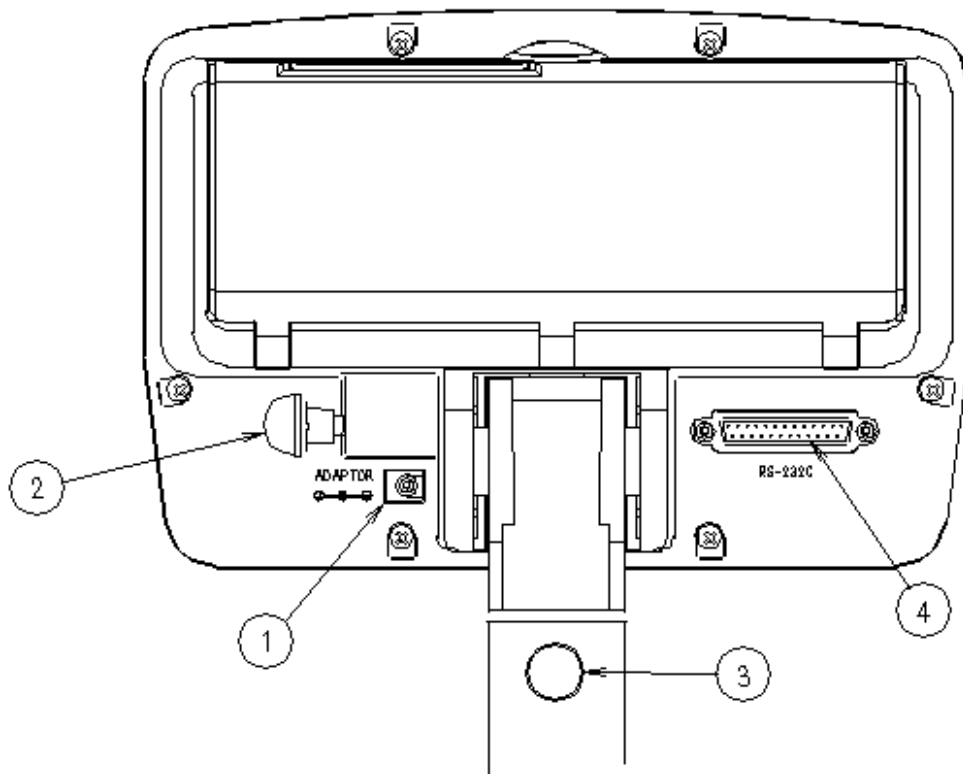
2.1 表示器パネル



【 キー 】

ON/OFF	計量モード，スタンバイモードの切替 メニューモードの解除
メニュー	メニューモードの操作
風袋 /	風袋引き メニューの選択・決定 数値入力時の確定
ゼロ /	ゼロ点の設定 数値入力時の桁移動
単位 /	単位切替 数値入力時の数値を減少
印字 /	表示値の印字，通信出力 数値入力時の数値を増加

2.2 表示器リアケース



A Cアダプタジャック

上下角度調節ツマミ

左右角度調節ツマミ

R S - 2 3 2 Cコネクタ

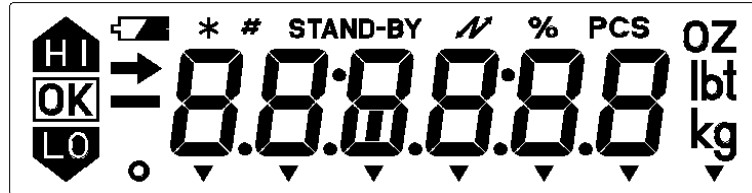
3. 基本的な使い方

3.1 重さを計る

最も基本的な重さを計る使い方です。

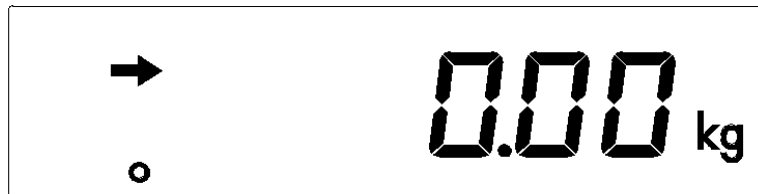
- 1) 皿に何も載っていないことを確認します。
- 2) 電源を接続します。
全表示点灯します。(約5秒間)

全表示点灯



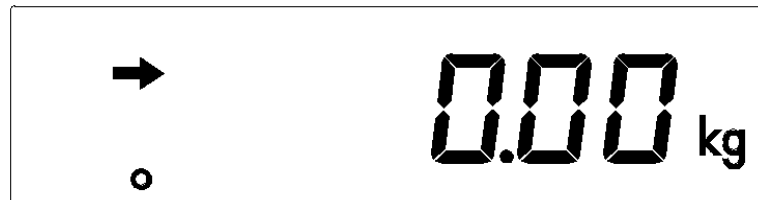
- 3) 全表示が消えて、重量表示 (kg 表示) となります。

重量表示



- 4) [ゼロ / ▶] キーを押してゼロ点を設定します。
“ ” が点灯します。

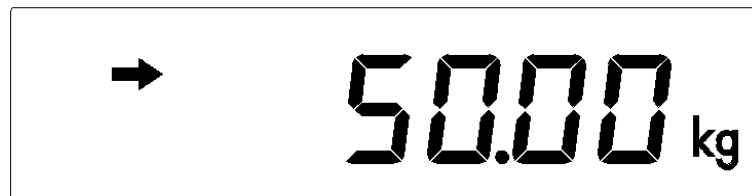
重量表示




はかりのひょう量の2%を超えるものが載っている場合は
ゼロ点の設定ができません。

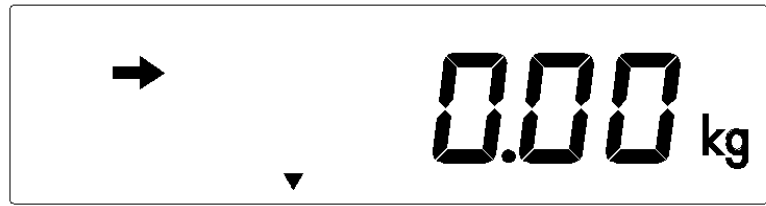
- 5) 計るものを載せて安定マーク () が点灯したら、数値を読みます。

重量表示



- 6) 風袋を使用するときは、風袋を皿に載せて安定マーク()が点灯したら [風袋 / ] キーを押して表示をゼロにします。表示パネルの“風袋引中”と掛かれた部分に“ ”が点灯します。

重量表示

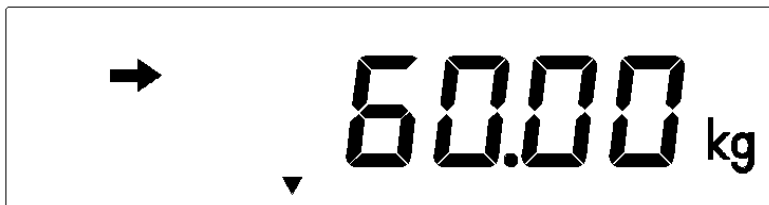


風袋引中

**最大風袋量を超えるものが載っていると風袋引きできません。
重量表示は表示されている値の1桁下の数値を四捨五入して表示しています。
したがって、最大風袋量の値を表示していてもその値を超えている場合がありますので風袋引きできないことがあります。**

- 7) 計るものを載せて安定マーク()が点灯したら、数値を読みます。

重量表示



風袋引中

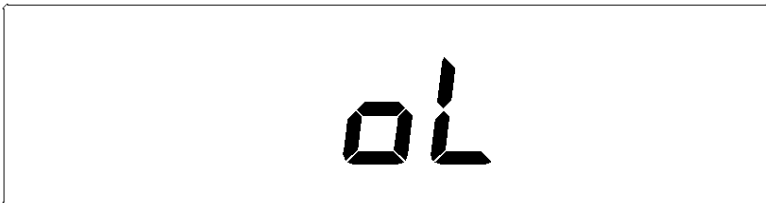
- 8) (ひょう量 + 9 d *) を超える物を載せた場合には、“OL”と表示されます。皿に載っているものを降ろしてください。

* dは、はかりの最小表示を表します。

LDS - 150Sの場合、1 d = 0.05 kgです。

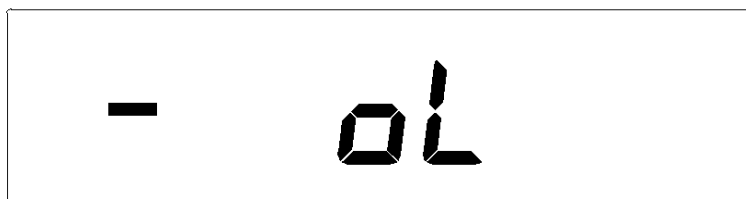
長時間過負荷の状態(“OL”表示)が続くと、装置故障の原因となります。

OL表示






- 9) はかりにかかる荷重が、ゼロ点からひょう量の5%よりも小さくなると“-OL”と表示されます。
皿に何も載せずに電源を入れ直してください。

-OL表示

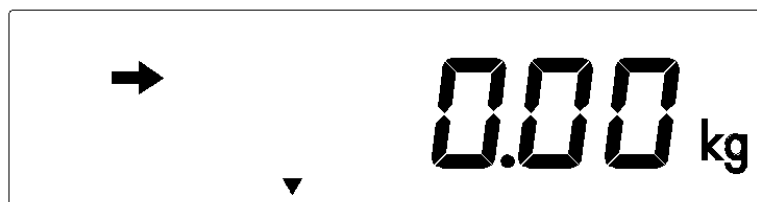


3.2 総量への表示切替をする

風袋引き中に総量（正味量 + 風袋量）への表示切替を行う方法です

- 1) 風袋を皿に載せて安定マーク（）が点灯したら [風袋 / ] キーを押して表示をゼロにします。
表示パネルの“風袋引中”と書かれた部分に“”が点灯します。

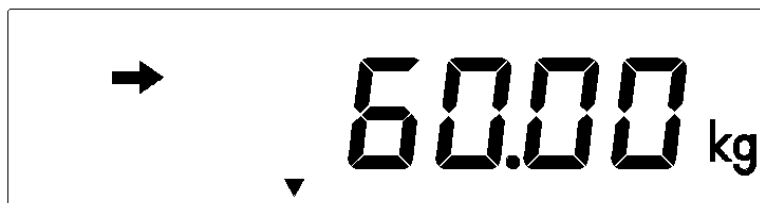
重量表示






風袋引中

- 2) 計る物を皿に載せます。重さが表示されます。

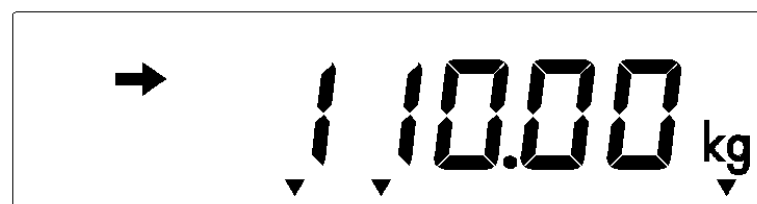
重量表示



風袋引中

- 3) [風袋 / ] キーと [単位 / ] キーを同時に3秒程度押し続けます。
表示パネルの“総量”と書かれた部分に“”が点灯します。
総量 = (風袋量) + (正味量 : 計る物の重さ) が表示されます。

重量表示



風袋引中 総量

- 4) 総量が表示されているときに[風袋 / ▲]キーと[単位 / ▼]キーを同時に3秒程押し続けると、“総量”と書かれている上の“ ”が消灯し、正味量が表示されます。
風袋引きを解除するときは、皿に載っているものを全て降ろし、[ゼロ / ►]キーを押します。風袋引きを解除すると、総量/正味量の切替は行えなくなります。

重量表示



風袋引中 総量

総量/正味量の切り換えを行うときは、“総量”と書かれている上の“ ”が点灯・消灯するまで[風袋 / ▲]キーと[単位 / ▼]キーを押し続けてください。

3.3 スタンバイモードへ切替える

スタンバイモードへ切替えることにより、消費電力を低減させることができます。

- 1) 重量表示のときに[ON/OFF]キーを押します。
- 2) 重量表示が消えて、“STAND-BY”が点灯します。

STAND-BY

- 3) スタンバイモード時に[ON/OFF]キーを押すと表示が全点灯した後に重量表示となります。

オートパワーオフ機能を作動させることにより自動でスタンバイモードへ切替えることができます。操作・設定方法については「取扱説明書 応用編」の“3.3.2 オートパワーオフ”の項を参照してください。

3.4 日付・時刻を設定する

内蔵時計の日付・時刻設定の操作です。最初に次の操作を行い、“ r t C ”と表示させます。

- 1) [メニュー] キーを3回押します。

Func 表示



- 2) “ F U n C ” と表示されているときに、[風袋 / ▼] キーを押します。
“ A P o : o n (または o F) ” と表示されます。



- 3) [単位 / ▼] キーを押します。
“ r t C ” と表示されます。

rtC 表示




3.4.1 日付設定

日付設定の方法です。

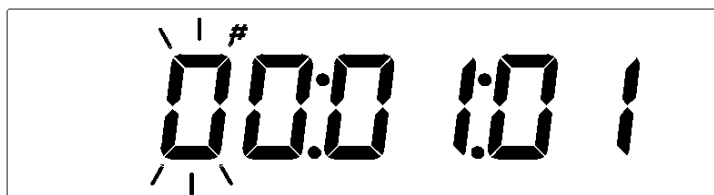
- 1) 表示器に “ r t C ” と表示されているときに、[風袋 / ▼] キーを押します。
表示器に “ d - S E t ” と表示されます。




d-Set 表示




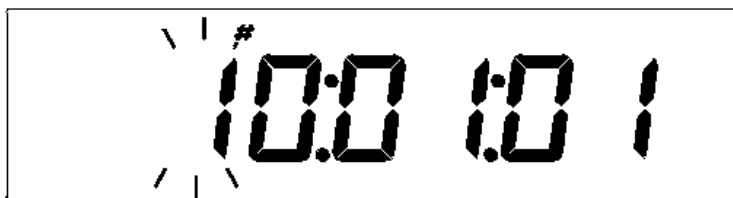
- 2) “ d - S E t ” と表示されているときに、[風袋 / ] キーを押します。
- 3) 西暦下 2 桁 : 月 : 日が表示 (例 . 0 0 : 0 1 : 0 1) され、左端の桁が点滅します。


設定表示

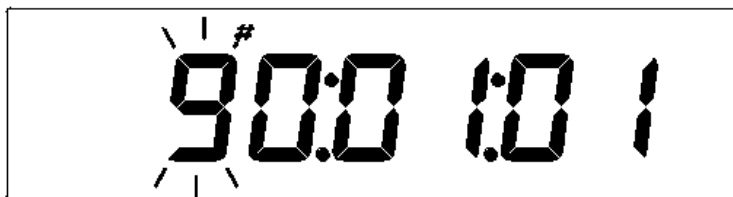



- 4) [印字 / ] キーを押すたびに数値が増加します。
 [単位 / ] キーを押すたびに数値が減少します。
 [ゼロ / ] キーを押すと点滅する桁が右へ移動します。
 これらのキーを操作して、日付を合わせます。

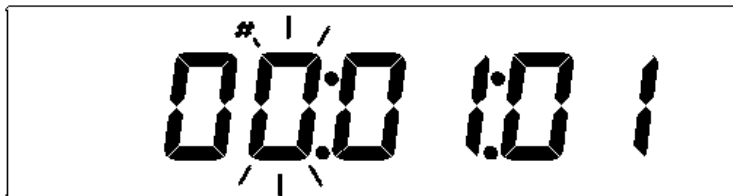
[印字 / ]




[単位 / ]

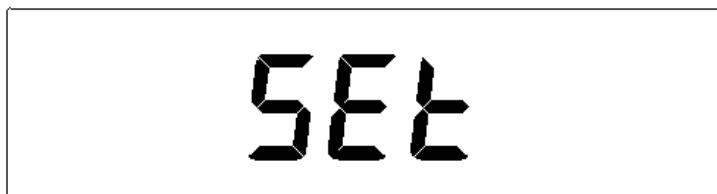


[ゼロ / ]



- 5) 日付設定を終了するときは、[風袋 / ] キーを押します。
 “ S E t ” と表示され、“ r t C ” 表示へ戻ります。

Set 表示





日付設定を中断するときは、[ON/OFF]キーを押します。
“Abort”と表示され、“rtC”表示へ戻ります。

Abort 表示




3.4.2 時刻設定

時刻設定の方法です。

- 1) 表示器に“rtC”と表示されているときに、[風袋 / ]キーを押します。表示器に“d-SEt”と表示されます。
[メニュー]キーまたは[単位 / ]キーを押して“t-SEt”と表示させます。

t-Set 表示



- 2) “t-SEt”と表示されているときに、[風袋 / ]キーを押します。
- 3) 時刻が24時間表示(例. 13:01)され、左端の桁が点滅します。

設定表示



- 4) [印字 / ▲] キーを押すたびに数値が増加します。
 [単位 / ▼] キーを押すたびに数値が減少します。
 [ゼロ / ►] キーを押すと点滅する桁が右へ移動します。
 これらのキーを操作して、時刻を合わせます。

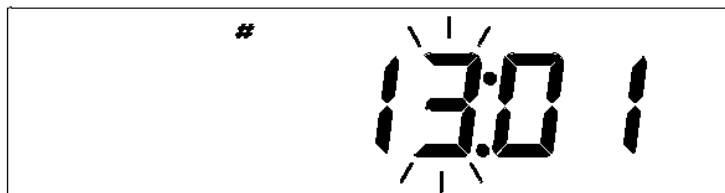
[印字 / ▲]



[単位 / ▼]

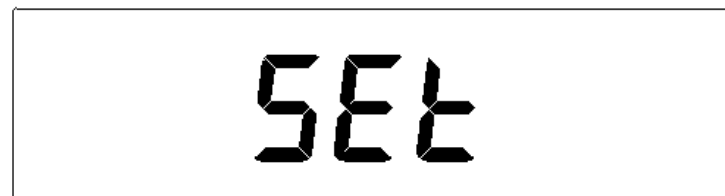


[ゼロ / ►]



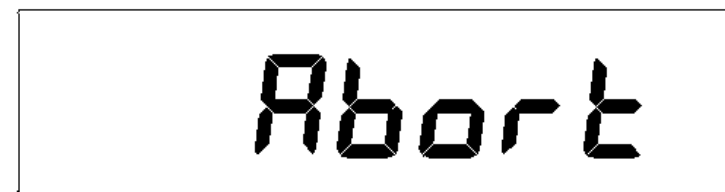
- 5) 日付設定を終了するとき、[風袋 / ⏏] キーを押します。
 “ S E t ” と表示され、“ r t C ” 表示へ戻ります。

Set 表示



- 日付設定を中断するとき、[ON / OFF] キーを押します。
 “ A b o r t ” と表示され、“ r t C ” 表示へ戻ります。

Abort 表示



- [ON / OFF] キーを3秒程押し続けると、重量表示へ戻ります。

4. 日常点検について

性能点検を行う場合は、温度変化の少ないところで行ってください。
これらの性能点検は、はかりが正常かどうかの判断の目安とお考えください。

1. 繰り返し性

- 1) 1 / 2 ひょう量程度の分銅を 5 回計量します。
安定マーク () が点灯したときの表示値を記録します。
- 2) 各回の計量値の差が、表 1 . 繰り返し性に示す値の 1 . 5 倍以内であれば正常です。

2. 偏置誤差

- 1) 1 / 3 ひょう量程度の分銅を右図の番号順に皿に載せて、表示値を記録します。
- 2) での値とそれ以外の位置での値の差が、表 1 . 偏置誤差の示す値の 1 . 5 倍以内であれば正常です。

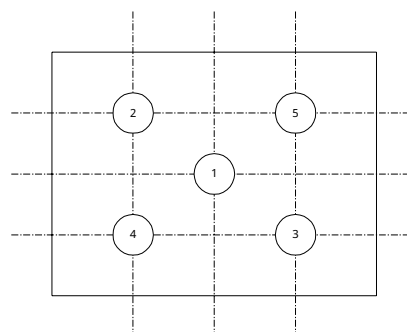


表 1 . 性能

型名	繰り返し性	偏置誤差	器差試験(直線性)
LDS-15S LDS-30H/30S LDS-60H/60HB LDS-60S/60SB LDS-150S	2 d	± 2 d	0 ~ 500d ± 2 d 501 ~ 2000d ± 2 d 2001d ~ ± 2 d
LDS-15H LDS-150H	3 d	± 3 d	0 ~ 500d ± 3 d 501 ~ 2000d ± 3 d 2001d ~ ± 3 d
LDS-15SV LDS-30HV/SV LDS-60HV/HBV/SV/SBV LDS-150SV	1 d	± 1 d	0 ~ 500d ± 0 . 5 d 501 ~ 2000d ± 1 d 2001d ~ ± 1 . 5 d

この性能は、工場出荷時に満たしている値です。

d は、はかりの最小表示を表しています。

LDS - 30S の場合であれば、1 d = 0 . 01 kg を意味します。

器差試験...基準分銅を使用して下の手順で試験を行います。

無負荷の状態から

- 1) 1/2 ひょう量 < 2000d の場合
20d 付近, 500d 付近, 1/2 ひょう量付近, 2000d 付近, ひょう量
- 2) 2000d < 1/2 ひょう量の場合
20d 付近, 500d 付近, 2000d 付近, 1/2 ひょう量付近, ひょう量
の順で負荷した後、順次負荷を減らしていきます。

5. 故 障？

下記の内容で故障と思われた場合は、確認欄の記載内容に従って装置の確認をお願い申し上げます。

症 状	確 認
[ON / OFF]キーを押しても表示が点灯しない。	ACアダプタが外れていませんか？
電源を入れても“ 8 8 8 8 8 ”表示から進まない。	ひょう量の約8%を超える荷重が載っていませんか？
表示がとまらない。	振動のない床，台の上に設置されていますか？ 水平調節足がすべて接地していますか？ 強い風，振動はありませんか？ 同じ電源から動力機を駆動していませんか？
風袋引きができない。	安定マーク()は点灯していますか？ 安定しているときのみ風袋引き可能です。 最大風袋量を超えていませんか？
総量 / 正味量の切替ができない。	風袋引き中の文字の上に()が点灯していますか？ 風袋引き中のみ有効です。
[ゼロ / ・]キーを押してもゼロ点の設定ができない。	ひょう量の2%を超える荷重が載っていませんか？ 安定マーク()は点灯していますか？ 安定しているときのみゼロ設定可能です。

使用中に表示されるエラーの原因とその処置は以下のとおりです。

エラー表示	原因	処置
Err Ad	<ul style="list-style-type: none"> ・ロードセル故障 ・ロードセルケーブル断線 ・表示器故障 	取扱店または弊社サービス部門にご連絡ください。 「アフターサービスについて」をご参照ください。
Err 04	<ul style="list-style-type: none"> ・計算エラー 	取扱店または弊社サービス部門にご連絡ください。 「アフターサービスについて」をご参照ください。
Err 20	<ul style="list-style-type: none"> ・数値入力エラー 	設定範囲を超える数値を入力したときに表示されます。 設定範囲内の数値を入力しなおしてください。
CAL E2	<ul style="list-style-type: none"> ・感度校正エラー 	皿に物が載った状態で感度校正を行おうとしたときに表示されます。 「取扱説明書応用編」を参照ください。
CAL E4	<ul style="list-style-type: none"> ・感度校正エラー 	感度校正に使用する分銅を間違えた場合に表示されます。 「取扱説明書応用編」を参照ください。

6. 仕様

6.1 LDS - Hシリーズ

型名	LDS-15H	LDS-30H	LDS-60H/60HB	LDS-150H
ひょう量	15 kg	30 kg	60 kg	150 kg
目量	0.001 kg	0.005 kg	0.01 kg	0.01 kg
最大風袋量*1	15 kg	30 kg	60 kg	150 kg
皿寸法(mm)	330 × 415		H : 330 × 415 HB : 420 × 535	420 × 535
本体重量(kg)	約 14kg		H : 約 14kg HB : 約 20kg	約 20kg
使用温度範囲	- 5 ~ 35			
電源	AC100V (ACアダプタ 9V, 2A) 単一乾電池 1.5V 6本 (オプション、電池ボックス要) (プリンタ使用時不可)			
重量表示	液晶表示, 5桁, 文字高さ26.4 mm			
機能*2	個数測定, %測定, コパレータ, プリント風袋引き, セトラッキング, オートワーク, RS-232C 出力 (Windows*3 直結機能付), 感度校正, 日付・時刻出力			
外観寸法	付図参照			

6.2 LDS - Sシリーズ

型名	LDS-15S	LDS-30S	LDS-60S/60SB	LDS-150S
ひょう量	15 kg	30 kg	60 kg	150 kg
目量	0.005 kg	0.01 kg	0.02 kg	0.05 kg
最大風袋量*1	15 kg	30 kg	60 kg	150 kg
皿寸法(mm)	330 × 415		S : 330 × 415 SB : 420 × 535	420 × 535
本体重量(kg)	約 14kg		S : 約 14kg SB : 約 20kg	約 20kg
使用温度範囲	- 5 ~ 35			
電源	AC100V (ACアダプタ 9V, 2A) 単一乾電池 1.5V 6本 (オプション、電池ボックス要) (プリンタ使用時不可)			
重量表示	液晶表示, 5桁, 文字高さ26.4 mm			
機能*2	個数測定, %測定, コパレータ, プリント風袋引き, セトラッキング, オートワーク, RS-232C 出力 (Windows*3 直結機能付), 感度校正, 日付・時刻出力			
外観寸法	付図参照			

- * 1 : 最大風袋量を超えるものが載っていると風袋引きできません。
重量表示は表示されている値の1桁下の数値を四捨五入して表示しています。
したがって、最大風袋量の値を表示していてもその値を超えている場合がありますので風袋引きできないことがあります。
- * 2 : 各機能の内容, 操作・設定方法については、「取扱説明書 応用編」を参照してください。
- * 3 : Windowsは米国Microsoft社の登録商標です。

7. オプションについて

LDSシリーズでは、作業効率アップのため下のオプション品を用意しています。
作業状況や環境に合わせて、オプション品のご活用もお願いいたします。

【 内蔵式プリンタ 】

表示器へ内蔵できるプリンタで設置場所をとらず、操作も簡単です。

統計計算機能，オートプリント機能，日付印字など機能も豊富です。

【 電池ボックス 】

LDSシリーズは、*乾電池駆動が可能です。

AC電源をとれない場所や、はかりを移動させることが多い作業状況などに
便利です。

プリンタとの併用はできません。

【 その他 】

RS-232Cを使用する場合のケーブル，コンパレータブザー，シーケンサ
に接続できるリレー出力インタフェースなども揃えています。

弊社営業または取扱代理店などにご相談ください。

7. 部品リスト

【 保守部品 】

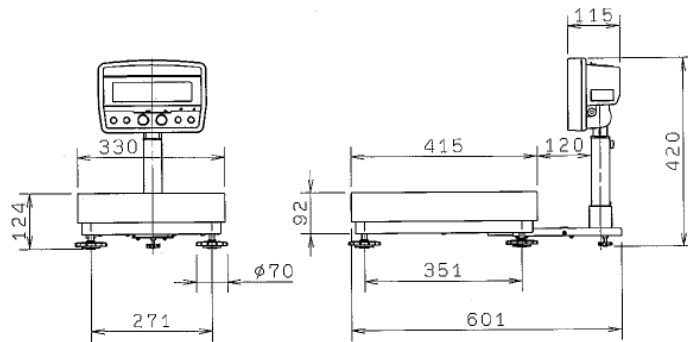
部品名称	部品番号	備考
皿 (小)	3 2 1 - 6 1 3 0 0 - 0 1	LDS-15H/15S LDS-30H/60H LDS-30S/60S
皿 (大)	3 2 1 - 6 1 3 0 0 - 0 2	LDS-60HB LDS-150H LDS-60SB/150S
皿受けゴム (センター)	3 2 1 - 6 1 2 9 6	
皿受けゴム (サイド)	3 2 1 - 6 1 2 8 8 - 0 1	厚 1 8 mm
	3 2 1 - 6 1 2 8 8 - 0 2	厚 2 4 mm
	3 2 1 - 6 1 2 8 8 - 0 3	厚 3 0 mm
表示器カバー	3 2 1 - 6 1 3 3 6 - 1 1	5 枚セット
水平調節足	3 2 1 - 6 1 2 9 2	
A Cアダプタ	3 2 1 - 6 1 0 3 7	
ポール部足	3 2 1 - 5 3 5 3 0 - 3 0	小皿機種のみ
左右角度調節ツマミ	0 3 7 - 0 2 8 2 0 - 2 2	

【 オプション品 】

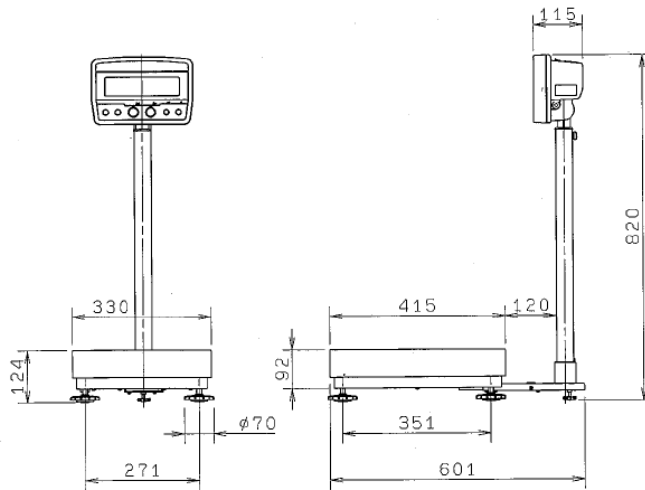
部品名称	部品番号	備考
内蔵式プリンタ E P - 7 0	3 2 1 - 6 1 1 1 8	
RS-232C ケーブル	3 2 1 - 6 0 1 1 7 - 0 1	DOS/V 用 1.5m
電池ボックス	3 2 1 - 6 1 1 1 9	単 1 乾電池 6 本必要
コンパレータブザー	3 2 1 - 6 1 1 9 5 - 0 1	
リレー出力インタフェース I F B - R Y 1	3 2 1 - 5 4 0 2 6	接点出力コネクタ付き

本体寸法図

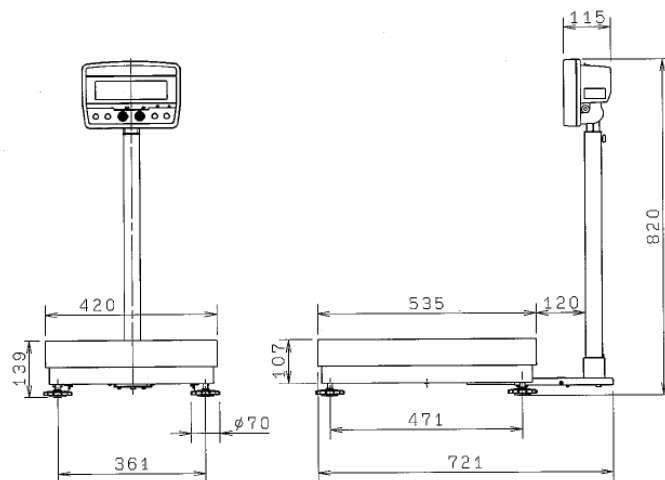
LDS-15H/15S



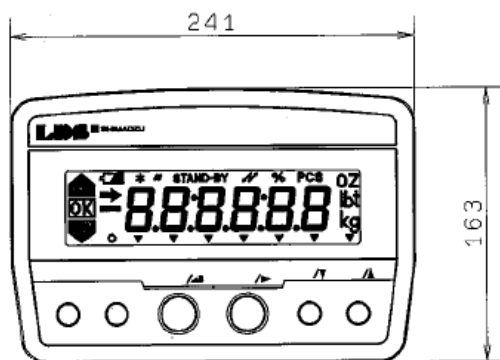
LDS-30H/30S
LDS-60H/30S



LDS-60HB/60SB
LDS-150H/150S



表示部



アフターサービス

故障と思われるときは、以下の当社サービス会社へ連絡してください。

● 東京島津科学サービス（札幌）

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1-2-1
太平洋興発ビル内
TEL: (011)242-2066
FAX: (011)242-2068

● 東京島津科学サービス（仙台）

〒980-0014 仙台市青葉区本町2-6-23
ビブスタオフィスビル内
TEL: (022)261-4812
FAX: (022)268-3860

● 東京島津科学サービス（東京）

〒111-0053 東京都台東区浅草橋3-32-5
ホッコク浅草橋ビル
TEL: (03)5820-3277
FAX: (03)5820-3275

● 東京島津科学サービス（富山）

〒939-8072 富山市堀川町330 宮内南ビルB号室
TEL: (076)493-9001
FAX: (076)493-9081

● 京都島津計測サービス（名古屋）

〒453-0016 名古屋市中村区竹橋町5-5
さかえビル4F
TEL: (052)451-4621
FAX: (052)451-4641

● 京都島津計測サービス（京都）

〒604-8445 京都市中京区西ノ京徳大寺町1
島津製作所 N5号館3F
TEL: (075)812-7001
FAX: (075)812-7003

● カンサ（大阪）

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-2-1 淀川5番館9F
TEL: (06)6371-5234
FAX: (06)6371-9187

● 松下製作所（福岡）

〒812-0037 福岡市博多区御供所町9-14
TEL: (092)291-4382
FAX: (092)272-3380

⊕ 島津製作所 分析計測事業部

島津天びんホームページアドレス <http://www.shimadzu.co.jp/balance/>

東京支社 天びん営業課 101-8448 東京都千代田区神田錦町1丁目3 TEL (03)3219-5705 FAX (03)3219-5610
関西支社 天びん営業課 530-0012 大阪市北区芝田1丁目1-4 阪急ターミナルビル14階 TEL (06)6373-6662 FAX (06)6373-6524